

我孫子市教育委員会 あて

我孫子市立布佐中学校 学校運営協議会
会長 篠崎 和彦

令和5年度 第2回 学校運営協議会会議報告書

このことについて、我孫子市学校運営協議会規則第12条の規定により、次のとおり報告します。

出席委員名 【布佐中】 鈴木伸樹、森政俊光、肥後真理子、篠崎和彦、山下正信、松島紀、鈴木昭彦、
渡里里美

記録者氏名 肥後真理子（教務主任）

（令和5年6月28日実施）

主な議事	発言者	協議・発言等の概要
1. 会長挨拶 2. 日程説明 3. 布佐中学校の1学期の様子について	会長 教頭 校長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌声交歓会の紹介および参加の促し * 各学年の2時間目の授業を参観 ・ コロナが緩和されたので、1学期の行事をすべて行うことができた。 ・ 3年生は京都・奈良へ修学旅行に行った。奈良では1グループバスを間違えたところがあったが、修正して目的地まで向かうことができた。京都は祇園の街を歩きながら食事会場へ向かった。3日目は全員和装して清水寺を散策した。 ・ 2年生の林間学校は、福島に行った。飯盒炊爨は、1年生の時に練習をしていなかったが、上手にカレーを作ることができた。2日目はガイドさんがついてコースに分かれて自然体験学習を行った。夜はキャンプファイヤーを行い、楽しい時間を過ごすことができた。 ・ 1年生は、校外学習として房総のむらに行き、仲を深めることができた。 ・ ふさカリキュラムでは、地域の方々に尽力いただき、フィールドワークを進めることができた。 ・ 小学校の時になかなか学校に足を運ばなかった生徒が、校内教育支援センターを利用している結果、毎日学校に来ることができている。
4. 授業参観の感想・ 質疑及び意見交換等	委員 校長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修学旅行での和装は、浴衣か。 ・ 着物である。慌ただしかったが、着付けをしてもらった。 ・ 去年の浴衣の着付け体験が生かされたかと思った。

5. その他	委員	・着物を着るといのは、子どもたちからの発案か。
	校長	・子どもたちからだと思う。
	委員	・個別適応教室に通っている生徒は何人いるか。
	校長	・現在は1年生で1人である。小学校の時に3人不登校の生徒がいたが、2人は普通学級に毎日登校している。また、給食に不安がある生徒も昼食時に利用している。
	委員	・現在の給食は、バイキング方式か。
	校長	・給食当番が盛っている。
	委員	・自分の体調等を考えながら、バイキング方式で盛ったりすることもできるとよいかもかもしれない。
	教頭	・食べられない生徒は減らすこともできる。
	委員	・1年生の英語の授業では、先生がネイティブで声も大きく、自分たちの時代と全く違った。
	校長	・今回は1年生だったが、上級生になるとオールイングリッシュで行っている。
	委員	・廊下の掲示物を、保護者に見てもらう時間も必要だと思う。親子で話す機会も自宅ではあまりないと思うので。
	委員	・修学旅行の班行動はずっと続けているのか。
	校長	・その通りである。
	委員	・修学旅行には全員が参加できたのか。
	校長	・欠席者は数名いた。
	会長	・11月に第3回学校運営協議会を行う。この時に、中学生と懇談会を行いたい。前は生徒会役員だったが、今回のメンバーはどうするか。また、協議のテーマはどうするか。これらを早めに決めたい。
委員	・学校の中心になっている生徒会役員だけでなく、運動系・文化系の部活の生徒など、学校の生の声を聞くことも大事だと思う。	
会長	・去年は、親のことを心配しているなど、こちらが感動した。	
委員	・生徒のメンバーを変えることによって、もっとたくさんの意見を出させること必要なのではないか。	
委員	・学校運営協議会は時間等にも制約がある。地域学校協働活動本部を活用してはどうか。	
教頭	・昨年度同様に、代表生徒を別な子どもたちに変えて、行うことは可能である。	
会長	・以上で会を閉じます。	

傍聴人0人（発言者数0人）